

プレスリリース

2015年5月14日

私たちセオドルレーシングはこのたび世界的なミニチュアカーメーカーのMINIMAX (SPARK)と国内外で多くのファンから支持されているガレージキットメーカーである有限会社ジル(STUDIO 27)との間にオフィシャルライセンス契約を締結しました。

両メーカーから私たちのモータースポーツにおける歴史をモデルカーで再現して頂くことになり、多くのファンの皆様と共に楽しさと歴史を共有できる事を大変に嬉しく思っております。

私たちのチームは先代のテディ・イップ シニアが 1970 年代半ばに起こしたチームであり、日本では 1976 年、“雨の富士スピードウェイ”において開催された F1 世界選手権 in Japan にアラン・ジョーンズ (Alan Jones) 選手の駆るサーティースにスポンサーしたのが最初の記録として残されております。このレースは先頃、世界中で上映された映画『ラッシュ/プライドと友情』の舞台にもなったレースでご記憶の方も多いかと思われます。

そして 1977 年 F1 日本グランプリでは正式にセオドルレーシングとしてエントリー。この時のドライバーはフランスのパトリック・タンベイ (Patrick Tambay) 選手で、マシンはエンサインでした。

日本の皆さんがセオドルレーシングの名前を最も記憶しているのはマカオグランプリに於ける 1983 の年アイルトン・セナ (Ayrton Senna) 選手と 1990 年のミカ・ハッキネン (Mika Hakkinen) 選手ではないでしょうか？このようにセオドルレーシングは長い歴史のなかで多くの名ドライバーを世界に飛躍するチャンスを沢山作ってまいりました。

その我々の歴史を形として残す為に、今回のオフィシャルライセンスプロダクツの契約を纏めあげたのです。

我々の歴史が皆さんの目の前にモデルカーと言う分かり易いカタチでお目見えすることになります。これらの趣旨にご理解を頂き契約を締結して頂きま

PRESS RELEASE
FOR IMMEDIATE DISTRIBUTION

**THEODORE
RACING**

した MINIMAX と有限会社ジルには大変に感謝をしておりますこの場を借りて御礼申し上げます。

皆様方におかれましてはミニチュアカーやプラモデル等と共に2013年より復活したセカンドジェネレーションのセオドルレーシングへの応援をどうぞ宜しくお願い致します。